

視聴覚教育

NO. 446

発行日

31.1.7

編集・発行

岡崎市AVL

編集協力

現職研修委員会

学習情報部

これ知ってる！？

コード決済

スマートフォンでQRコードなどを読み取り、紐付けられた銀行口座などで決済を行うこと。スマホ決済など他の呼び方もある。店舗での決済だけでなく、個人間でも現金を使わずやり取りをすることができる。専用のアプリをインストールする必要がある。

脈々と受け継がれる岡崎の自作教材制作

現職研修委員会学習情報部長 名倉 嘉章

ドローンを使って撮影された岡崎公園の風景が、教室の大型ディスプレイに映し出される。自分が岡崎の空を自由に飛んでいるかのような映像。上空から見る我が故郷の美しさに、授業中の子供たちは、目も心も引き付けられていく。

本市では、昭和49年度より45年間、教師による視聴覚教材の自主制作という伝統が脈々と続がれている。本年度も、自主研修サークル「おかざき映像教材研究会」において5点の教材（詳細は下記にて紹介）が制作された。これで、岡崎市視聴覚ライブラリーに所蔵されている自作視聴覚教材は、ビデオ教材が277本、マルチメディア教材が30本となる。

私たち岡崎の教師は、目の前の子供たちに地域に根差した映像教材を提供し、学習をより子供の身近に引き寄せることで、子供の主体的に学ぶ意欲を高めたいという熱い思いを受け継いできた。こうした姿が全国的に高い評価を受け、本年度の全国自作視聴覚教材コンクールでは、「おかざき映像教材研究会」制作の「きみは大気圧をイメージできるか」（対象 中学校一年生

理科）が文部科学大臣賞を受賞した。文部科学大臣賞の受賞は三年ぶり、23作目となる。

これまで制作された教材にも素晴らしいものが多い。例えば社会科では、岡崎の石製品や八丁味噌など、伝統を受け継ぐ人々の思いに迫り、郷土を感じる教材がある。また、消防や水道・ごみ処理など市民生活につながる教材も多く制作されている。理科では、乙川のホタルや矢作川、岡崎平野など身近な自然や地形の特色を学ぶことのできる教材がある。全ての教材が、郷土の魅力を描き出し、子供を主体的な学びへと導くことができるよう意図して制作されている。

新学習指導要領の前文には、教育の目標に「伝統と文化を尊重し、それらをはぐくんできた我が国と郷土を愛する」とある。また、総則では、情報活用能力を育成するため、視聴覚教材など教材・教具の適切な活用が求められている。岡崎の自作視聴覚教材に込められた思いは、まさにこれら新学習指導要領が示す教育の指針と重なる。これからは岡崎に生きる子供が、自らの郷土を愛し、情報活用能力を駆使して学ぶ姿を創り出すよう、自作視聴覚教材の積極的・効果的な活用を進めることで、岡崎の子供の「主体的・対話的で深い学び」を支えていきたい。

Ⅱ 視聴覚教育あれこれⅡ

● 自作視聴覚教材の活用を

「おかざき映像教材研究会」制作の教材が完成しました。いずれの教材も授業での使いやすさを考えて作られています。二月の学習情報主任会において、全教材を収録したDVDを配付する予定です。これまでに配付した教材も含め、積極的に御活用ください。

作品の題名

A班『情報ネットワークで変わる社会』

（ビデオ教材 対象 小学校五年 社会）

B班『多文化共生社会』

（ビデオ教材 対象 小学校五年 社会）

C班『心のふるさと 千万町楽校』

（ビデオ教材 対象 中学校三年 社会）

D班『エネルギー資源の活用』

（ビデオ教材 対象 中学校三年 理科）

E班『天気ってなに』

（マルチ教材 対象 小学五年 理科）

● 昨年度の自作視聴覚教材活用事例

ビデオ教材

『きみは大気圧をイメージできるか』

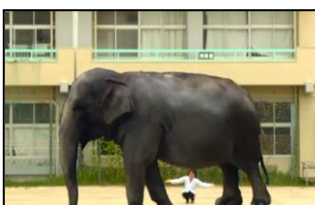
（その変化にともなう現象からせまる）

☆今年度全国自作視聴覚コンクール

文部科学大臣賞受賞作品

中学校一年生理科「力と圧力」

の単元の「空気の圧力」の授業で利用した。大気圧によって缶がつぶれる演示実験の結果を考察した後、本教材を視聴し、学習を深めた。本教材の利用が、目に見えない大気圧の強さの理解につながった。



実践報告Ⅱ

夢中になって物事の順序を考える児童

美合小学校 蜂須賀 一輝

自分の考えを伝えることが苦手な子供に対し、必要な情報を判断し、順序よく並べる力を育てたいと考え、本実践に取り組んだ。

本実践では、スズキ教育ソフトの、「ぴたっと！プログラミング」（以降ぴたプロ）を活用した。ぴたプロは、主人公がロボットに家の手伝いをさせるために、プログラムを組み命令する、というソフトだ。例えば、風呂掃除をさせるために「水をまく」「ブラシで擦る」などのブロックを並べて、ロボットに命令を出す。子供たちは、何度も試行錯誤してブロックを組み替え、ロボットを自分の意に沿って動かそうと試みた。この活動を通して、順序と反復の重要性に気付くことができた。

うまくいかない場合には、学級で改善点を話し合った。理由も伝えるように指示すると「ここに〇〇がないと*のように動かないから、〇〇のブロックが必要だ」など、画面を指さしながら話し合う姿があった。その後、自分でプログラムを確認し、全員が必要箇所を修正し、課題を解決できた。



子供たちは、「友達に教えてもらったら、なぜできないのかが分かった」や「掃除の時間を思い出してやったら、とてもやりやすかった」と振り返った。ぴたプロを活用して、自分の経験や仲間と助け合いながら、夢中になって掃除に必要な情報を判断し、項目に分解した手順を順序よく並べる力を深めることができた。

Ⅱ レッツ・トライ！ ICT Ⅱ

今回紹介する ICT Web「プリント教材+English」

いよいよ、二年後から小学校高学年で「英語科」の授業が始まる。ふれる語数を増やすこと以上に学習指導要領で重視されているのは「聞く・話す力のレベルを高めること」だ。担任が子供にとって楽しい授業をするだけでなく、確実に英語力を高めていく必要がある。そこで、英語の授業で役に立つ Web サイトを紹介したいと思う。

「特別支援教育のための教材」には、ひらがなや計算など様々なプリント教材とともに「プリント教材+English」というページがある。使ってみると、特別支援学級に限らず小学生の外国語科にも有効であることが分かった。



<http://www.e-kokoro.ne.jp/ss/1/>

様々なジャンルの絵が単語と共に載っており、視覚的に単語を捉えることができるので、小学校の子供たちにとって分かりやすい。ぬりえやビンゴゲームといったプリントもあり、楽しみながらアルファベットを覚えるアイディアが満載である。また、お医者さんごっこやお買い物ごっこなどのレスポンプランが具体的に例示されており、さまざまな授業の場面で役立つことが予想される。

英語がより楽しく、そして分かりやすくなる教材が詰まっているので、ぜひ活用してほしい。

（甲山中学校 学習情報主任 杉本 抄智代）

ライブライブラリーだよ

視聴覚ライブライブラリーには多くの視聴覚教材・機材があり、視聴覚ライブライブラリーHP（OKリンク）の「視聴覚ライブライブラリー貸出検索」をクリック）から貸出予約ができます（方法は『岡崎市視聴覚・情報教育の手引き』を参照）。なお、予約にはIDとパスワードの入力が必要です。分からない場合は視聴覚ライブライブラリーまでお問合せください。

貸出期間は貸出日を含めて七日以内（七日目が休館日の場合は以降最初の開館日まで）で、貸出日三か月前から予約可能です。巡回郵便での配達を希望する場合は、「利用目的」の欄に「巡回郵便希望」と入力してください。利用期間内であれば、巡回郵便で返却ができます。

【機材貸出の注意】

二月末から三月中旬にかけて、学校関係、社教関係ともに行事が多く、日によっては申込をお断りしなくてはならないケースが毎年発生しております。

特にプロジェクターやデュープリケーターの利用については、卒業関連行事に合わせて申込が集中します。早期の御予約をお願いいたします。

